



# 食育健康だより

トバラこども園 令和5年 5月発行

## 【予防接種の目的・意義～個人を守る＆社会を守る～】

予防接種の目的・意義は、

- ① 一人一人がその病気にかからないように個人を病気から守ること(個人防御)。
  - ② 皆さんの住んでいるコミュニティ、つまり、集団での感染拡大を防ぐこと(集団防御)。
  - ③ 予防接種を受けたくても受けられない人たちを感染症から守ること(集団免疫)。
- の3つがあげられます。

- ① は、当然のこととして理解できると思います。②、③は「集団免疫効果」に関わることです。妊婦や生まれたばかりの赤ちゃん、また、何らかの理由で予防接種を受けられない人たちがいます。集団全体で免疫を獲得することで、この人たちを守ることができます。これを達成するには、定期接種としてほとんどすべての人が予防接種を受ける必要があります。



## ○予防接種スケジュール

感染症には、それぞれかかりやすい年齢や季節があります。そのため、かかる前にワクチンの接種を済ませておくことが大切です。最近では、赤ちゃんや小さな子ども同伴のレジャー、ショッピング、外食などが日常的になりました。また、働く女性が増えて、保育園などで集団生活を送る子どもも増えていきます。このように子どもが人の多く集まる場所に長時間いることが増えると、それだけ感染症にかかる機会が増加します。予防接種を受けるにあたって、おすすめの時期やスケジュールが示されているのはそのためです。

## ○生ワクチンと不活化ワクチンについて

予防接種に使用するワクチンには生ワクチンと不活化ワクチンがあります。生ワクチンとは生きている細菌やウイルスを、その毒性を弱めたり、なくしたりして体内に入れ、実際にかかった時と同じような免疫をつくるものです。軽くかかった状態になりますが発病はしません。もちろん周囲の人にうつしたりすることはありません。不活化ワクチンは細菌やウイルスを殺し、その中から免疫をつくるのに必要な成分をとりだしてつくられたものです。1回の接種でできる免疫は弱いので、何回かくりかえすことで強く長く続く免疫をつくっていきます。



## ○予防接種は副反応が心配

予防接種というと、接種した後、熱が出たり何か具合が悪くなることのあるのではという心配があると思います。これを副反応といいます。比較的良好とみられる発熱、注射した部位のはれなどの副反応は、免疫反応のあらわれと考えられ、きちんと免疫ができる証拠ともいえます。ただし異常に元気がない、顔色が悪いなどの症状がある場合は念のため受診することをおすすめします。

乳児期はワクチン接種において最も重要な時期と言えます。ワクチンの種類が増え複雑化しているように感じるかもしれませんが、複数のワクチンを同じ日に接種する同時接種も含め、日本も海外の先進国の足並みにやっと追いついたというのが現状です。ワクチンにより予防可能な感染症から日本の子どもたちが守られる機会が増えたことは、嬉しい限りです。

～参考文献～

<https://www.tokyo.med.or.jp/citizen/vaccination>

「予防接種のお話」

<http://www.yoshidasyounika.com/about.php>

「ワクチンの話」